



作家・阿刀田高がご案内します。

小倉百人一首の世界を

# 小倉百人一首を楽しく

かいぶらり教養セミナー  
阿刀田館長 連続講座

- 受付期間 平成29年  
8月22日(火)～9月19日(火)
- 定員 100名
- 会場 山梨県立図書館1階 イベントスペース東面
- 受講要件
  - ・高校生以上で、全6回の出席が可能な方。
  - ・あらかじめ教材を用意し、お読みいただける方。
  - ・前回受講された方は出席回数(4回以上)を考慮します。
- 講義時間 午後1時30分～午後4時

お問い合わせ 山梨県立図書館 企画振興担当 〒400-0024 甲府市北口2丁目8番1号

電話055-255-1040ファックス055-255-1042電子メール [shinko@lib.pref.yamanashi.jp](mailto:shinko@lib.pref.yamanashi.jp)

# 阿刀田館長講座 受講申込書

氏名 (カナ)	
氏名 (漢字)	
住所	〒
電話番号	( )
◎確認事項	<p>① 高校生以上であり、全6回の出席が可能です。</p> <p>② あらかじめ教材を用意し、各回の講座前に読んで上で参加します。</p> <p><input type="checkbox"/> 同意します。(同意する場合はチェックをして下さい。チェックがないものは無効です。)</p>

------(切り取り線)-----

和歌は日本文学の基である。5音と7音を巧みに組み合わせた基本的な美意識、そして多彩な四季と人間の心の関わりを歌い、また確か、不確か、いろいろな密度で人間の生きる哲学までほのめかしている。遠い時代の代表作を百人から百首選んで鑑賞をうながし、ゲームにまでして私たちの楽しみとした民俗もみごとである。それが次第に忘れられようとしている今、あらためてたどってみよう。現代の教養として、短歌はもちろんのこと、俳句、詩、そして小説やエッセイ、習作の基本として、この知恵は欠かせない。



## 講義内容

### 第1回 平成29年10月14日(土)

「小倉百人一首」の成立とあらまし。編著・藤原定家(1162～1241)について。まず紫式部と清少納言の2首について。(テキスト：第1話)

### 第2回 平成29年11月11日(土)

女性たちの嘆き。和泉式部はナンバー・ワンと言われたが…。

(テキスト：第1話)

### 第3回 平成29年12月9日(土)

“待つこと”と文学。大切な人を待つ、待つことこそが人生だ。“待つ”と“松”、かけ言葉について。

(テキスト：第2話)

### 第4回 平成30年1月13日(土)

日本人には四季がある。移ろい行く季節と私たちの心はどう関わってきたか。春から夏へ、眺めてみよう。(テキスト：第3話)

### 第5回 平成30年2月3日(土)

秋の歌は多い。それが遠い時代の心にふさわしいのか。日本人の心の原点なのか。しからば、厳しい冬はどうか。

(テキスト：第4～5話)

### 第6回 平成30年3月10日(土)

語り残したことが多いだろう。ここではいろいろな歌に示されている哲学や思索について語り、全体の落ち穂拾いしよう。

(テキスト：第6～11話)

## テキスト



『恋する「小倉百人一首」』

阿刀田高／著

株式会社KADOKAWA

648円(税込)

- ・各回とも、午後1時30分から午後4時
- 館長が2時間程度講演し、終了前30分を質疑応答時間とします。
- ・出席が5回以上の受講者には館長名の修了証書を授与します。
- また全6回受講した方には館長サイン入り色紙を贈呈します。

\* 募集期間内に、①ファックス②電子メール③図書館カウンター申込のいずれかの方法で、所定の様式によりお申し込みください。

\* 募集期間内に定員100名を超えた場合、抽選で選定しはがきで受講決定の可否を通知します。

\* 参加費は無料としますが、交通費、駐車場代、教材購入費は受講者の負担とします。

\* 図書館北側に普通車153台の駐車スペースがあります。

図書館利用者(受講者)は1時間以内は無料、以降30分につき一般車は150円の駐車料金が必要になります。

できるだけ環境にやさしい公共機関でご来館ください。